

新しい大阪



思想家、神戸女学院大名誉教授 内田樹さん 上

大阪市の住民投票で、賛成派の運動は巨額の資金を投じた組織的なものでした。一方、反対派の運動は、政党も動いていましたが、最終的には未組

さらば維新政治

生活者無視した発想

織の市民たちの手作りの運動が大きくなつねりになつて過半数を制した。運動期間がもっと長かったら反対票はさらに増えていたでしょう。

維新が掲げていたのはいわば「ファンタジー」でした。夢洲（ゆめしま）にカジノを誘致し

たのは「自分たちが住んでいるまちのすがたを変えてたくない」という思いでした。土地の持つていまことにカジノを誘致する求心力への素朴な信頼

です。明治以来、行政はルダのレストランだのハコモノを林立させればたまります。鐵道を通して、ホテルのレストランだのハコモノを林立させればたまります。そういう感情をずっと無視し続けてきました。人々や面積や税額といった

力はもっと深いところにあります。言語、祭り、食文化、生活習慣、そういう具体的なものが地域住民を統合してきました。

「大阪都」構想の区割りは明治の廢藩置県と官僚的発想という点では変わりません。要するに

は兵庫県民ですけれど、まわりの人たちに「県に対する帰属感」や固有の「県民性」を感じることはありませんし、それが

「どこに住んだって同じだろう」という生活者の実感に敗れた。

土地の求心力

反対運動を突き動かしたもの

たのは「自分たちが住んでいたことは廢藩置県からが机の上で地図に適当に線を引いて地域を区切って来た。でも、地域の求心力はもっと深いところにあります。言語、祭り、

近代行政は何百年もかごとを考えているという事実から明らかです。僕は兵庫県民ですけれど、まわりの人たちに「県に

りに軽視してきました。「大阪都」構想は典型的で、「自分の足もとの土地と親密なつながりを保持したい」という生活者の実感に敗れた。

あまりに軽視

いう一獲千金の夢物語です。

数値だけを基準に、役人が机の上で地図に適当に線を引いて地域を区切って来た。でも、地域の求心力はもっと深いところにあります。言語、祭り、

実感を無視した机上の論です。でも、それが失敗したことは廢藩置県から

どうする」とか「但馬です」というふうに答える。